

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

第4号

2004.8

A館が完成オープン

かしわばゼミナール

頭をぶつけたらその後の経過に注意しましょう

食べて健康

トマト

おしらせ

救急車専用通路により、迅速な搬入が可能になります

【発行】 医療法人 柏葉脳神経外科病院 〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
URL <http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp> TEL(代)011-851-2333 FAX011-851-2131

【制作】 有限会社 慶文社

A館が完成オープン



機能とアメニティの 共存をめざして

今年7月21日、増改築を進めてきた当院A館2階部分の工事が終了し、A館が全面的にオープンしました。

A館は、外来を受診される患者さんから、救急患者さんまで、すべての患者さんの移動距離が最短になるように配慮されています。

また、病棟の機能だけでなく、快適性も心がけています。入院患者さんとともに、来院されるご家族の方々にも配慮し、病棟各フロアにはアメニティックデイルームや面談室を完備。3階には手術患者さまを待つご家族のために、家族待機室を設置しました。

3階の急性期病棟は、緊急を要する重篤な急性疾患や、高度な専門的手術・治療を必要とする患者さんに対応する病棟です。

2階の亜急性期病棟は、急性期を過ぎた後も高度医療を必要とする患者さんに対応するほか、疾患の程度によっては急性期の初期からの入院医療にも対応できる病棟です。

回復期リハビリテーション病棟 オープンは10月を予定

10月中旬にはB館2階に、回復期リハビリテーション病棟が完成する予定です。

A館同様、広いデイルームと面談室を設置するほか、体の自由の利かない方へ特に配慮した特殊浴槽も準備します。B館1階のリハビリテーション

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります



A館4階 手術室

急・亜急性期棟

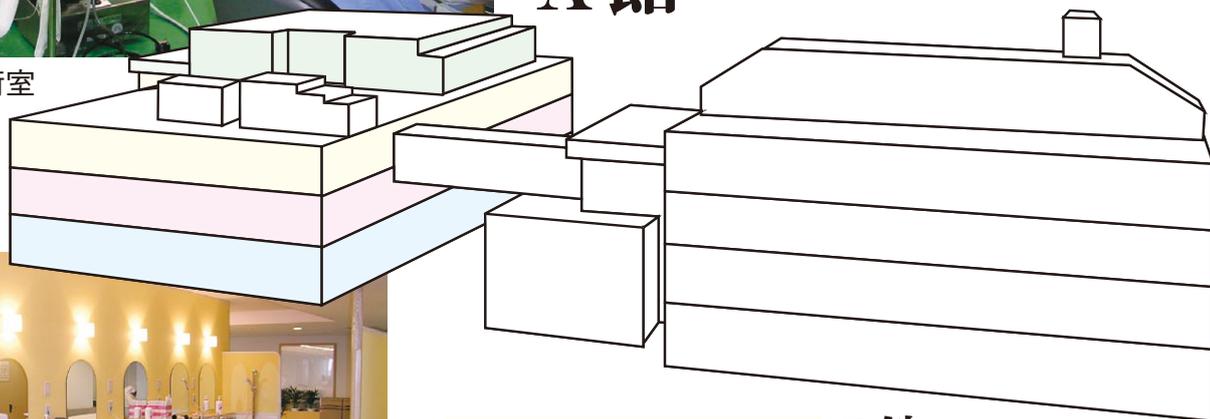
4F 手術室・中央材料室

3F 急性期病棟

2F 亜急性期病棟

1F 外来診療・各検査施設

A館



A館3階 洗面台

3F 検査・治療施設

B館

2F 回復期リハビリテーション病棟

1F リハビリテーション施設

リハビリテーション棟



A館2階 アメニティックダイルーム

本院の増改築工事は、平成14年度に開始し、平成17年3月下旬に完成の予定で、順調に進行しています。

また、現在、患者さんの病院受診・退院のより充実したシステム作りに取り組むため、地域医療連携室を準備中であり、まもなく本格稼働いたします。

当院は、病院施設やさまざまなシステムの整備により、これまで以上に、高度な医療と快適な空間を提供しながら、地域の皆さまとのより強い結び付きをめざしていきます。

**地域とのより強い
結び付きをめざして**

ン部門との密な連携のもと、急性期後の患者さんの1日でも早い家庭・社会への復帰をめざします。



A館1階 外来受付と待合ロビー

かしわば ゼミナール 第4回

頭をぶつけたら

その後の経過に注意しましょう

症状が治まっても安心してはいけません

小さな症状でも
念のために受診を

数週間後に
症状が現れることも

人間の脳は、硬い頭蓋骨によって守られていますが、当たり所が悪かったり、非常に強くぶつけた場合には、危険な状態になることもあります。当院で平成15年に行った手術の中で、296件のうちの14.2%が、外傷に関する手術でした。

頭の外傷には比較的重症なものとして、**頭蓋骨の骨折**、血管が切れて血液が溜まってしまふ**頭蓋内血腫**、脳が傷つく**脳挫傷**などがあります。

また、頭をぶつけて、頭皮が切れたり、タンコブができた程度でも、傷口に泥や砂が入って化膿したり、なかなか腫れが引かないこともあります。軽く考えずに、念のために脳神経外科で受診しましょう。



頭をぶつけた後、意識障害・手足のしびれなどの症状がでて、すぐに回復することがあります。しかし、安心してはいけません。頭蓋骨の内側で出血し、血液が脳を圧迫している可能性もあります。

硬膜という薄い膜の内側に血液が溜まる**硬膜下血腫**には、24時間以内に急速に進行する急性のものと、数週間から数カ月かけて進行する慢性のものがあります。

急性の場合、短時間で死に至る危険性があるので、**早急な手術**が必要です。**慢性**の場合は、数週間後から数カ月後に、手足のしびれや歩行障害、思考力の低下、痴呆症状といった症状が現れますが、この時点で手術を行えば、問題なく回復することができます。

いずれにしても、頭をぶつけた後は、脳神経外科で早めに検査を受けておくと安心です。



欧米では「トマトが赤くなると医者が青くなる」といわれています。

赤い色素の主成分はリコピン

リコピンは強い抗酸化作用があり、ガン予防、老化防止、心疾患予防などの効果が報告されています。

夏バテを解消してくれるクエン酸も

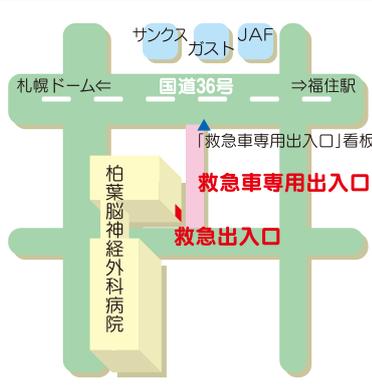
トマトには、ビタミンAをはじめ、ビタミンC、E、B6、ミネラル、クエン酸、食物繊維が多く含まれています。また、体内の塩分を排泄する作用のあるカリウムが豊富で、高血圧を予防する働きも持っています。

今年の夏は、昨年とは違って変わって猛暑の連続です。各地区で行われる、さまざまな夏祭りやイベントは、いつそう華やかでしょう。そんな陽気に誘われて、つつい生活のリズムがくるいがちになり、体調を崩す方が多いの

NEWS おしらせ

救急車専用通路により、迅速な搬入が可能になります

救急車が国道36号から直接当院に乗り入れられるように、現在、専用道路を建設中です。一刻を争う脳障害や頭部外傷に対し、より迅速な対処が可能になります。



編集後記

もこの時期の特徴です。北海道の短い夏をとことん満喫するために、なるべく不摂生をさけ、十分な睡眠と食事のバランスに留意して、身体へのいたわりの気持ちをお忘れなくしてください。

(小川)